

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103797
法人名	医療法人 博愛会
事業所名	グループホーム しらさぎの里
所在地	愛媛県松山市菟川1丁目2番28号
自己評価作成日	平成27年6月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年6月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

相手に対して思いやりを持ち、お互いが協力し合って、また相手の立場に立って考える事によって、お互いの信頼関係を深め、利用者様により良いケアが出来る様に日々取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は、耐震工事に伴い約1年間休止していたが、昨年11月に再開している。
 介護度重度の利用者が多く、職員は、利用者に明るい雰囲気の中で過ごしてもらえるよう歌を歌ったり、冗談を言って笑う等して雰囲気作りに努めている。会話することが可能な利用者は少数であるが、職員の申し送りの場に同席してもらったり、併設施設にお連れしてレクリエーションを楽しむ時間が持てるよう支援している。日々のおやつは、法人厨房から届くが、重度の利用者のおやつとして、食感の好みや状態を探り、ポーロやぶがし、ソフトせんべいを準備することもある。訪問美容でカット等してもらっている。
 管理者は、職員同士がチームワークよくケアに取り組めるよう、見本となりながらけん引している。たとえば、用具等、「次に使う人が気持ちよく使えるように準備する」「劣いの言葉をかける」等、相手を意識して行動できるよう取り組んでおり、そのような取り組みが、利用者のことを思いやる気持ちにもつながっているようだ。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム しらさぎの里

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

丹下 実子

評価完了日

平成 27 年 6 月 1 日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「自分らしく」を理念に、利用者様や家族様のニーズを踏まえ、個々にあったサービスを提供している。まだ、地域に密着したサービスとはなっていないが、地域との交流を徐々に増やしていき、地域全体で高齢者を支援していく事業所を目指したい。	
			(外部評価) 事業所は、耐震工事に伴い約1年間休止していたが、昨年11月に再開している。前法人代表者がつくった「自分らしく」という理念を廊下に掲示しており、管理者は、利用者や職員の特色等も踏まえて取り組みたいと話していた。	さらに、グループホームの特性を活かしたケアを実践できるように、事業所の意義や目的等を話し合いながら、取り組みをすすめていかれてほしい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 日常的な交流としては、散歩に出かけた際に挨拶程度しかない。	
			(外部評価) 重度の利用者が多いということもあり、事業所では、利用者が地域に出かけるような取り組みに難しさを感じており、現在は、地域との交流があまりない。今年度から運営推進会議に地域の代表者が参加するようになり、地域行事等の情報提供がある。	利用者が地域の中で暮らし続けられるように、まずは、職員が地域の中に積極的に出かけてつながりを作っていかれてほしい。地域に事業所のことを知ってもらえるような取り組みに工夫されてほしい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議にて、日常や特変の対応等、報告をし、理解を得ている。地域の人々への発信はできていない。今後の課題として取り組んでいく。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議で利用者の現状や行事報告、施設での問題点などの報告をし、それに対する役員さんの意見を頂き、改善策を話し合いサービスの向上に活かしている。</p> <p>(外部評価) 会議には、町内の代表者や民生委員の参加があり、事業所から利用者の入退居やヒヤリハット・事故報告、又、行事報告を行い、意見交換している。又、職員研修の内容報告もしている。ご家族には、来訪時に口頭で会議案内をしているが、ご都合等もあり参加にはつながっていない。今後はさらに、事業所のケアサービスについてより具体的な報告ができるよう工夫して、いろいろな立場からの意見や要望を引き出していかれてほしい。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議で市町村担当者より意見や情報を得て実践に繋げているが、日常的には関わりを持っていない。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、意思疎通が難しい利用者への職員の対応について説明した際には、市の担当者の方から、「小さい喜びをやりがいに感じる事が出来るのは、良い職場だと思う」と感想があった。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 勉強会などで、身体拘束における禁止行為を把握している。入り口はエレベーターになっており、セキュリティーがかかっているため、自由な出入りは出来ないが、身体拘束しないケアに日々取り組み、実践している。</p> <p>(外部評価) 事業所は建物の4階に位置しており、エレベーターで降りる場合は暗証番号を入力して使用するようになっている。ベッド上で過ごす時間が長い利用者も、食事やおやつ時間は居間に出て、他利用者と一緒に過ごせるよう支援している。さらに、車いすに乗って長時間過ごす利用者については、様子等もみながら、いすやソファーに移って過ごす時間が作れないか検討されてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 日常的に利用者への声掛け、また、トイレ、入浴時にボディチェックを行い、変化を見逃さない。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 知識としては多少あるも、直接的な支援をする対象者がおらず、今までに関わったことがない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前に訪問し、その場で家族・利用者様と十分な話し合いや説明をし、理解や納得を図っている。又、入居後も同様に行っている	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者やスタッフに都度言って頂き、運営に反映させている。外部への表示は出来ていない。 (外部評価) ご家族用に便りを不定期に発行している。ご家族は、利用者の洗濯物を取りに来る等で来訪しており、管理者は、そのような時を捉えて利用者の状態やケアについて報告し、意見や要望を聞いている。ご家族は、「お願いします」「任せます」と言われることが多いようだ。調査訪問時、ご家族の来訪があり、管理者は外部評価実施日であることを話していた。3月の誕生会には、ご家族の参加があり、他利用者にも声をかけてくれるような場面等があったようだ。	チームケアで利用者を支えることがグループホームの特長であり、ケアパートナーであるご家族とも相談しながら利用者の暮らしを支えていけるよう、取り組みの工夫が期待される。管理者は今後、ご家族に、グループホームについて知ってもらえるよう取り組み、信頼関係作りにも工夫したいと話していた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営に対し、理事からは十分に説明を受けているが、運営や方針についてスタッフサイドから意見や提案を表すことはない。	
			(外部評価) 管理者は、職員同士がチームワークよくケアに取り組めるよう、見本となりながらけん引している。たとえば、用具等、「次に使う人が気持ちよく使えるように準備する」「劳いの言葉をかける」等、相手を意識して行動できるよう取り組んでおり、そのような取り組みが、利用者のことを思いやる気持ちにもつながっているようだ。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 各々の状況や個性を重視の上、評価してくれている。把握の上、劳いの言葉をかけてもらうことにより、向上心を持って働く事ができている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修に参加する機会を設けてもらい、参加した職員の報告などにより、共有したトレーニングが出来ている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域包括支援センター主催の連絡会に参加させてもらう事によって、同業者との交流やネットワークが作れ、サービス向上に役立っている事がある。(意見を参考にできる)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 不安や訴えに耳を傾け、話し合っ改善に向けての努力を常に行っている。又、信頼関係を築く努力を日々行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 初期の面会時に時間を頂き、ご家族様に希望・要望・その他、ご本人様についての情報をお訊きしている。同時に信頼関係を築けるよう努めている。又、希望などに対しては実践し、結果を報告し、話し合っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況を把握し、様々な観点から考慮し、対応するよう努めている。又、上司に相談し、間違いのないよう対応を心掛けている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日常の対応、会話の中で、人生の先輩としての体験や価値観を聞く事によって、学ぶべき事が多々ある。又、それに対し、話し合う事によって、関係保持が出来ている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時に利用者の日常の報告をもとに、利用者の性格や気質などをアドバイス、又、ご協力頂く事により、家族様と共に支援することにより、スタッフとの信頼関係も出来ている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族様以外の面会は殆どなく、個別に馴染みの場所にお連れしたり、面会の機会を設ける支援は出来ていない。 (外部評価) 併設施設や病棟職員は利用者のことを知っており、名前ですんでくれることを利用者はうれしく思っている。ご家族来訪後には、「来てくれてありがとう」と利用者が手紙を書けるよう支援しているケースがある。日付や名前も書くようにしており、ご家族は「字が書けるんですね」と喜ばれるようだ。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、職員の仲介のもと、孤立防止に努めている。しかし、重度の利用者が多い事、又、各々の自我が強く難しいこともある。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 法人内の他の事業所へ移られた方たちに対しては、法人全体の行事等を通じ、コミュニケーションを取っている。しかし、外部に移られた方に対してはフォローが出来ていない。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人一人の思いや希望等を把握する為、コミュニケーションをとりながら理解したり、話し合いにより知る事が出来ている。スタッフだけでは困難な場合には、理事やご家族様と相談しながら本人本位に検討している。 (外部評価) 介護計画作成前には、日常生活動作や身体機能の現状把握を行っている。調査訪問時には、居間の大型テレビで昔の歌手や暮らしの映像を見る方があり、職員は利用者の方に、歌手の名前を聞いたり、一緒に歌ったりしていた。ひな祭りの日には、ひな祭りにまつわる思い出話等をうかがった。	介護度が重度になってからの入居等、利用者の以前の暮らしぶりを知ることに難しさを感じているが、事業所理念「自分らしく」の実践に向けて、利用者のことを知る努力を続けていかれてほしい。知り得た情報を蓄積して、利用者主体の介護計画の作成につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) これまでの生活歴、生活環境、サービス利用等はサマリーやフェースシートにて把握しているが、更に細かい内容は、本人・家族より情報収集を行っている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 各々の日々の過ごし方の違いは把握出来ており、プラスその日の心身状態に合わせて生活している。又、職員間の密なる情報交換により、総合的に把握できている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			利用者様が快適に生活して頂けるよう、本人様にとって何が大切なのか、一人一人にあった介護計画をいろいろな意見を求めながら作成している。	
			(外部評価)	
			介護度重度の利用者が多く健康面や身体介助を中心に介護計画を作成している。利用者の持っている力を維持向上できるように、管理者の発案で、計算ドリル等を行う時間を作っているケースもある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			毎日の介護記録、業務日誌に1日の様子やケア実践について記録に残し、又、連絡ノートにて職員間の情報交換をし、統一を図りつつ、今後の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			日によって求められる内容が違い、問題も日々違う。今、その人にとって、何が大切なのか、何をすべきなのかを把握し、臨機応変に対応できるよう取り組んでいく。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			幼稚園児の慰問、理美容等の協働により、いきいきとした楽しい生活を送ることが出来ている。又、定期的に消防の協力を得て、消防訓練を行い、安全で豊かな暮らしができるよう心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 併設の診療所があり、看護職員を通じて、日頃から利用者様の健康管理に気を付け、密に情報をやり取りしながら、安心した医療が提供されている。また、スタッフもその支援を日々行っている。</p> <p>(外部評価) 事業所は、併設医療機関と密に連携を図り、24時間体制で利用者を支援することが特徴であり、4月からは、毎日医師が訪れて利用者一人ずつ診ている。そのような体制が、利用者やご家族の安心感につながっているようだ。利用者の健康状態については、ご家族に小まめに報告している。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 毎日、バイタルチェックを行い、声掛け等もしながら体調の管理及び異変を早期発見していくよう心掛けている。また、変化の見られた場合は看護職員にすぐさま報告し、受診及び看護の支援をしている。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院時には、入院先に介護サマリー等を通じ情報伝達を行い、家族様にも安心して頂けるよう努力している。また、退院時の受け入れも以前と変わらず安心して戻って来て頂けるよう気をつけながら対応している。併設医療機関とは常に情報の共有をしており、他の病院等とは、事前の関係づくりは特に行っていない。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 必要な時期に家族様と話し合い、主治医の判断を仰ぎ、家族様の了承のもと方針を定め、それに対し、スタッフと家族様とでターミナルケアを行っていく。ターミナルケア後も家族様の支援をできるだけ行っていく。地域関係者との支援体制はない。</p> <p>(外部評価) 系列病院や併設施設とともに、利用者の看取りを支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 研修等で、事故防止を学んでいく。又、以前の事故報告やひやりはっと報告書を通じ、検討会を実施していくことにより、事故の再発防止に取り組んでいる。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の消防訓練を実施しており、消防署、地域との協力体制のもと、昼夜それぞれを想定した訓練に取り組み、迅速且つ安全に避難できるよう備えている。	
			(外部評価) 併設施設と合同で避難訓練を行っている。2月の防災訓練時には、消防署の指導の下、マットを利用して階段から利用者を避難させる方法を教えてもらった。又、水消火器を使って消火訓練を行った。運営推進会議時、訓練の報告を行った際、地域包括支援センターの担当者から、「地域の協力を求めたり、訓練に参加してもらおう等、地域との交流が必要」とアドバイスがあった。会議時、地域の代表者に誘ってもらい、管理者は今後、地域の会議(防災計画・自主防災)に参加することになっている。又、簡易担架の作り方を教えてもらい、実際に作ってみた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人一人をよく理解し、プライドを傷つけないよう配慮しながら、その人らしく過ごせるようプライバシーの確保に努めている。	
			(外部評価) 介護度重度の利用者が多く、職員は、利用者にも明るい雰囲気の中で過ごしてもらえるよう歌を歌ったり、冗談を言って笑う等して雰囲気作りに努めている。会話することが可能な利用者は少数であるが、職員の申し送りの場に同席してもらったり、併設施設にお連れしてレクリエーションを楽しむ時間が持てるよう支援している。日々のおやつは、法人厨房から届くが、重度の利用者のおやつとして、食感の好みや状態を探り、ポーロやふがし、ソフトせんべいを準備することもある。訪問美容でカット等をしてもらっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 飲み物や衣服など選択可能なものは、自己決定して頂き、本人様を尊重する。また、本人様が訴え易い雰囲気作りを心掛け、コミュニケーションを大切にケアしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合を優先してはいないが、共同生活である以上、他の利用者様と一緒にある程度のルールは守って頂いている。その中でなるべく本人様の希望に添えられるよう支援していく。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 起床時のモーニングケアを始め、衣服は選択できるようならして頂いている。理美容においては、本人様のご希望にできるだけ添えるよう支援している。また、行事等においては、お化粧品やマニキュアを塗って、喜んで頂いている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 本人様の嗜好を把握し、ひとつでもお出しできるよう支援していく。また、料理の名前や材料等を説明し、少しでも理解して頂きながら食事をして頂いている。利用者様と一緒に料理の準備や食器の片付けは非常に困難である。 (外部評価) 食事は毎食、法人厨房からトレーに配膳されて届き、利用者の状態に応じた形態で、お茶はゼリー状になっている。重度の利用者は、食事時間の少し前にベッドから起きて、居間に出て食事できるように支援している。誤嚥の心配がある利用者には、職員2名でかわり、食事介助をしていた。朝食は、7:15、昼食は11:30、夕食は16:30からとなっている。	今後さらに、グループホームだからできる食事支援、利用者主体の食事支援に工夫を重ねていかれてほしい。利用者一人ひとりが食事を楽しむことができているか点検して、事業所ができることを探っていかれてほしい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人の状態に合わせて、摂取量や水分量の確保ができるよう努めている。又、医師等に相談し、栄養補助食品の検討もできる。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) なるべく本人様に口腔ケア及び義歯のある方は義歯の手入れをして頂き、難しい方は介助を行い全員に口腔ケアを実施している。又、職員の介助も困難な場合は、協力歯科医院に訪問にて、口腔ケアを行って頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人一人の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を行うことにより、おむつ減らしができるよう努力している。	
			(外部評価) 車いすを自走する利用者には、職員が時間を見計らいトイレに行くことを促し、誘導等して支援している。ベッドで過ごす時間の長い利用者はおむつを使用しており、職員は「テープ止め紙おむつのあて方」等の勉強会を行い、おむつ交換の方法を学んだり、正しく使用できるよう取り組んでいる。おむつ交換時には、必ず声かけ等しながら行うようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎日の水分摂取や食事内容に気を付け、排泄の状況を常に把握し、医師の指導のもと自然に排泄できるよう支援している。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 曜日や時間の指定があり、その時々希望やタイミングに合わせる事は出来ないが、個人のペースや希望に応じた入浴時間が持てるよう努めている。	
			(外部評価) 建物2階に設置されている機械浴を使用して、全員の利用者の入浴を支援している。ベッド上で過ごす利用者は、ストレッチャーで移動している。入浴中は、職員が歌を歌う等して、ゆっくり入浴できるような雰囲気作りに努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 規則正しい生活のリズムを支援しており、又、その日の本人様の状態に合わせた休息をして頂いている。室内も温度と湿度の管理を行いながら、健康管理と快い環境を提供するよう努力している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の必要性を理解し、副作用・効能・効果について、把握に努めている。又、情報共有する事により、状態の変化や経過の理解に努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ぬり絵や合唱など、本人様の好きな事をして頂く事により、楽しんで頂いている。しかし、重度の方が多いため、テレビ鑑賞や職員との会話などが多く、役割を作る事は困難である。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族様の支援のもとでの外出が多く、又、外出ができる利用者様が少ない。できるだけ外出支援を行っていきたい。	立地条件や利用者の状態等のこともあるだろうが、利用者が外に出て過ごすような機会作りに工夫してほしい。利用者にとって懐かしいような場所等を探って出かけられるよう、チームで取り組みをすすめてみてはどうだろうか。
			(外部評価) ご家族がお花見等に連れ出すようなこともある。職員は、利用者が乗る車いすを押して1階玄関まで夜勤に入る職員を出迎えに行ったり、5階の洗濯場まで行って洗濯物を取り入れたりしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本、グループホーム内での金銭や貴重品の持ち込みはお断りしている。家族様の管理内での金銭の所持及び使用は支援していきたい。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙の書ける利用者様には、機会があれば家族様等に宛てた手紙を書いて頂いたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下、居間、食堂などに季節感を取り入れた装飾や写真を飾り、台所や浴室、トイレには生活感のある空間を作っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>併設医療機関の玄関から出入りし、事業所が所在する4階までエレベーターで上がるようになっていいる。居間はものを置かずシンプルにしている。台所は現在、調理に使用することではなく、事務所としても利用している。壁面には、母の日に撮った利用者の写真を掲示していた。さらに、室内で過ごす時間が長い利用者が多いこともあり、季節感のあるしつらえや意欲向上につながるような物品の用意等、空間づくりの工夫を重ねていかれてほしい。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共同で使用できる空間は、食堂兼リビングで、個々の決まった席があり、その中で利用して頂いている。ソファ等もあるが、利用されるのは難しい。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人様の使い慣れたものを持ち込んで頂いており、本人様や家族様の要望にあった配置となっている。その中で、本人様も快適に過ごされている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ベッドで長時間過ごす利用者の居室は、特に室温調節や掃除に気を付けている。利用者によっては、毎朝、洋服をお見せしてご自分で選べるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>バリアフリー、手すりが設置されており、本人様が自立した生活が少しでも送れるような環境がある。又、安全で分かりやすい環境で、安全で安心した生活を送って頂いている。</p>	